

架設桁で更に工期短縮

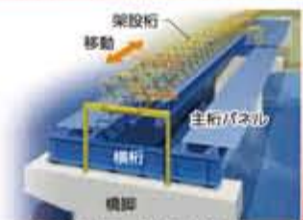
新日鉄住金エンジニアリング(東京都品川区、藤原真一社長)が開発する「パネルブリッジ」は採用実績が間もなく100件に到達する。同社建築・鋼構造事業部鋼構造営業部によると、昨年度までに完工数が約80件あり、今年度に新規採用が20件に及ぶという。

パネルブリッジは、合成床版橋(桁橋形式)の1つで、急速・簡易施工、低桁高などが特徴。NET

新日鉄住金エンジニアリング(東京都品川区、藤原真一社長)が開発する「パネルブリッジ」は採用実績が間もなく100件に到達する。同社建築・鋼構造事業部鋼構造営業部によると、昨年度までに完工数が約80件あり、今年度に新規採用が20件に及ぶという。

鋼構造営業部では更なるパネルブリッジの活用を促すため、これまでのクレーン架設に加えて「架設桁工法」の提案も行っている。プレテンPC

桁橋で豊富な実績を有する架設桁架設を用いて、出水期に短工期で架設が行えることを意図した。同部は「多径間の河川橋や桁下の架設ヤードが確保しにくい連続高架橋、跨線・跨道橋などに有効だ」とし、「単年度での完工が可能」としている。



架設桁工法を提案